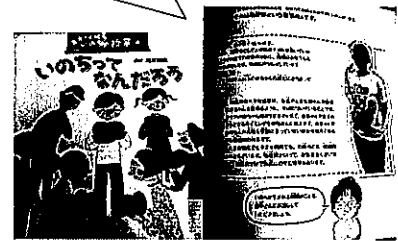


# 『いのちの授業』 いのちの誕生

～「性」とは「心が生きる」「いのち」の原点～ 性の健康教育

尾木ママ監修  
『いのちの授業④』に掲載



## 【プロフィール】

田中佳子(よしこ)

助産師・看護師

大学病院に20年勤務  
看護師として集中治療室で多くの死に直面  
その後助産師として産科に勤務  
流産・死産・誕生を通して命の奇跡、尊厳を学ぶ

現在フリー助産師として  
病院勤務  
出張母子ケア開業  
調布市助産師会会長  
ゲゲゲの町の助産師会代表  
地域で活動を広げている

都内の小学校で講演活動中



日本の昨今、自殺・いじめ・ひきこもり・親殺し、子殺しと状況の悲惨さは加速し「いのち」に対する意識も薄らいでいる世の中になってきています。これらの要因は子どもも大人も自尊心が低下しており自他共に愛せなくなっているからだと思えます。

自尊心・他尊感情の低下は親、友人、学校、社会 etc・・・「認めてもらえてない」という感情にあります。核家族化・孤立している親子関係、競争社会・・・多様な原因があり人とのコミュニケーション能力の低下も一つの原因です。

人は誰もが、無条件に愛され、認めてもらえることで自尊心は高まります。

そして、人はみんな赤ちゃんの時に無条件に愛されていました。

子ども達は「いのちの誕生」にとっても興味を示します。おなかの中の小さな「いのち」に秘められた「生きる力」

38億年の生命の進化は子宮の中の胎児の成長と同じ。自分の力で生き、生まれてきたこと、愛されて生まれてきたこと・・・先祖がいて今の自分がいること。

子ども達にそれを伝えることは生きていくこと、生きていくことの喜びにつながります。「自分はすごい」と自尊心を高め、自他共に愛し、「いのち」を大切にできます。

この感情は子どもだけでなく、大人がもう一度再確認することが大事なのです。

そして、もう一つ 大人が知っておかなければならないのが子ども達の「性」をとりまく問題です。今、性行動の低年齢化、望まない妊娠、性感染、性被害、デートDV、ドラッグ・・・親の知らない間に子ども達の「性」をとりまく問題が多様化しています。情報化

盗の社会の中で誤った情報から子ども達の性の健康被害が深刻化しています。実際に親世代も正しい「性」を教えてもらっていないので戸惑い、ごまかしてしまいがちですが、親が正しい情報を伝えていかなければ、子ども達は簡単にネットなどで誤った情報を手にします。

私達、大人が「生命と性の教育」を「健康教育」としてもう一度見直さなければ、このままでは子ども達を守ることはできません。

「性の健康教育」は自分の誕生の話から 親から子へ伝えていくことが始まりです。難しいことでなく、家族で食卓を一緒に囲み会話をするのです。会話を大事にしている子どもは問題行動が少ないというデータがあります。その術をお伝えしたいと思います。

「性」とは「心が生きる」「いのち」の原点ということを生々の現場にいる助産師がお伝えします。大人も子どもも感動する内容をお届けします。

おとなの皆様へ

# 「性」＝「心が生きる」 「いのち」の原

点

昨今、いじめ、自殺、虐待、親子の殺人 etc...

「いのち」を大切に思えない世の中になっています。

バーチャルゲームのように「いのち」はまたリセットできる。簡単に生きかえらると思っ  
ている子どもも少なくありません。今子ども達の中で何が起きているのか？

「性と生殖に関する教育」を「健康教育」として受け入れてないがために、有害とし  
ている大人世代...子どもは性を知りたがっているが、大人が教えてくれない。

子どもはどうするのか...インターネットや携帯電話の普及により簡単に性情報が入  
手できるようになっています。(40年前の600倍) この性情報はコマーシャルセック  
であり、日常ではありえない情報ばかり。

子ども達は最初に入手したものを正しいと思ってしまいます。

現実的に「性」を汚らしいものと感じ、大人を信頼できない子どももいます。

その影響を受け、性行動の低年齢化、10代の望まない妊娠・人工妊娠中絶、性感  
染症、性犯罪被害の増加など性に関する健康問題が深刻化しているのが現状で  
す。

今の親世代は「生命と性の教育＝性教育」と誤解し、何をどう教えたらいいのか戸  
惑う人も多いです。また「寝た子を起こすことはない」とあえて話さないケースもあり  
ます。

この現状はいたしかたないのです。私達、親世代も「生命と性の教育」を正しく教え  
てもらっていないのがほとんどです。

今、「いのち」を大切にできない世の中、何が大切なのか？

自尊感情(自分を大切にすること、大切にできること。)

自己効力感(自分には有効な力があると思えること)

これらを高めていくことで、人生をより自分らしく生きるために持つべき技術を  
養い人生を豊かにし、他者も大切にできる。(WHO提唱 ライフスキル教育)

無条件に愛され、受け入れられることで自尊感情は高まります。

「赤ちゃんはどうやってうまれてくるの？ どこからくるの？」

5歳までに80%の子ども達が聞いてきます。

子ども達は純粋に「いのちの誕生」を知りたがっています。

おなかの中の小さな「いのち」に秘められた

「生まれてくる力」

生命の奇跡、胎内記憶、自分の力で生まれてきたこと、愛されて生まれてきたこと

子ども達にそれを伝えることは生きていくこと、生きていくことの喜びにつながり  
ます。「自分ってすごい！」と自尊感情を高め、自他共に愛し、「いのち」を大切  
にできます。

大人達が性のアイデンティティを持ち、子どもの性の健康を守り、  
すべての人が自尊感情・自己効力感を持つことがとても重要です。

「性」＝「心が生きる」と書く 「いのち」の原点

「性」はいやらしいもの、汚らしいものと大人が隠す必要は全くなく、

「性」は「いのち」と、もっと真剣に毅然とロマンティックに伝えていいのではないでしょ  
うか。

そして誰よりも「いのち」の大切さを教えられるのが家族です。是非この機会に  
ご家庭の中で「性」・「生」について語り、伝えて下さい。

令和元年

助産師 田中 佳子

gmail

# いのちのメッセージ

世界70億人。その中の男女からあらたな「いのち」がはじまる。

その「いのち」は3億分の1の存在(精子)と500分の1の存在(卵子)。

あなたはこの世でたった一つの存在。

国、人種、肌の色、髪の色、目の色……世界中にはいろんな人がいるけれど、

みんな共通しているのは、お母さんの子宮(いのちの部屋)にいたこと。

みんな最初はたったの0、13mmだったこと。

胎内では生命誕生38億年と同じ成長をしていた。

あなたはすごい生命力をもっている。そして自分の力で生まれ、

自分でこの世の中を選んできていること。

自分はお父さん、お母さんから生まれ、父や母は祖父母から生まれ、

10代前では1024人のご先祖の存在

千年前には1兆99億人のご先祖。

その一人でもいなくなっていたら…… 今の自分はない。

自分はいのちのバトンを引き継いでいる。

まさに尊い「いのち」。 とても大切な「いのち」。

「いのち」はつながっている。

「いのち」は4つある。

「宿命」は変えることはできないが、

「運命」は自分で切り開くことができる

人生(未来)は自分で決めることができる。

あなたは 未来の種子をいくつも持っている。

人生(未来)は選べる。

目標を持ち努力することで「使命」を果たすことができる。

そして自分の「天命」を全うすることができる。

今この瞬間に 生きていることが素晴らしいこと。

生かされているあなた。 生きているあなた。 あなたはすごい！！

自分が幸せなら周りも幸せになる 「ありがとうの法則」

あなたは愛されて生まれてきました。

あなたは愛されているから生かされています。

あなたは愛するために生まれてきました。

あなたは愛するために生きています。

無限の可能性を秘めているあなたへ

ワクワクする人生を！

助産師 田中 佳子